

- ▶ 三沢市では、財政事情により手入れ不足の公有林が増え、自然災害発生危険性や景観を損ねている箇所があることから、森林環境譲与税を財源として、主伐、間伐や下刈に係る調査及び施業を実施し、公有林の維持管理を継続していく方針。
- ▶ 令和3年度においては、以下の取組を実施。
 - 暮らしを守る森公園の樹木伐採予定範囲1.32haの事前調査
 - 市民の森保安林区域2.24haの下刈
- ▶ 令和4年度においては、暮らしを守る森公園の樹木伐採及び、継続して市民の森保安林区域の下刈を実施予定。

□ 事業内容

1 樹木伐採に係る事前調査

【事業費】484千円（全額譲与税）

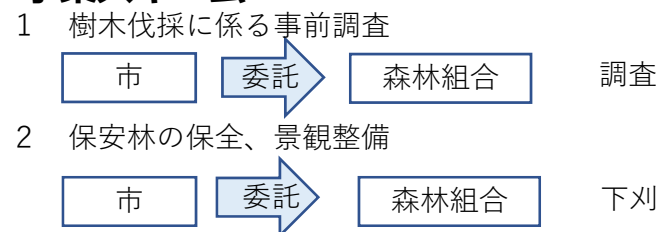
【実績】調査面積 1.32ha

2 保安林の保全、景観整備

【事業費】924千円（全額譲与税）

【実績】保安林区域内の下刈 2.24ha

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 保安林生殖の支障にならないよう下刈を実施

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	5,412千円
②私有林人工林面積（※1）	476ha
③林野率（※2）	16.2%
④人口（※3）	39,152人
⑤林業就業者数（※4）	10人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、
 ※4：「H27年国勢調査」より



（事業2：保安林の保全、景観整備）



（事業2：保安林の保全、景観整備）



（事業2：保安林の保全、景観整備）